

## 魅惑と情緒あふれる「夜の呑川」

1) サギたちは「夜行性」か・・・



前回レポートで、2015年は「ゴイサギ」「アオサギ」がよく現れたことを報告しました。



これは「ゴイサギ」ですが、「夜行性」の鳥なので、夜間に魚を捕る姿も見てみたい、なんとか観察したいと書きました。

これに対し、「鳥は鳥目というように夜はよく見えないはずだ。真っ暗な夜に、魚を捕獲出来るとは思えない」との質問をいただきました。あれやこれやの文献を調べて、その答えを探す方法もありますが、他人の研究結果に頼るよりも、私も実際に確認したくなり、「夜の呑川」に幾度となく観察に出掛けました。



夕食が終わって、夜9時頃、久が原の「仲之橋」付近で「アオサギ」を見つけました。  
昼と同じように、遡上する魚を狙っているようです。

「アオサギ」は「夜行性」と書かれた野鳥図鑑などもありますが、その多くは「昼行性」と説明されています。  
しかし、実際にこういう姿を見ると、少なくとも「呑川」では、夜間も元気に動いていることが確認出来ました。  
もちろん、魚の動きも見えるのでしょう。

一方「ゴイサギ」は、どの本を見ても「夜行性」と書かれています。

そこで、そばの公園「久が原1丁目ひろば」に座り、もう少し待つことにしました。  
しかし、座っていると冬の夜はとても寒く、夜中の12時を回ったのでそろそろ帰ることにしました。  
すると・・・



なんと「ゴイサギ」が現れたのです！（右がゴイサギ、左がアオサギです）

「ゴイサギ」は、「上流側」に向う姿勢を取り、「下流側」を向く

「アオサギ」と並びました。

これは、昼間でもよく見られる「ゴイサギ」と「アオサギ」の特徴で、その背景も解明したいことの一つです。



こうして見ると、やはり「ゴイサギ」は、「呑川」においても

「夜行性」には間違いないようです。

さて、観察をしていると、「魚」を器用に捕獲している姿が見られます。



昼間と同じように、クチバシに挟む姿を見ると、魚がよく見えているようです。しかし、夜間に魚を捕獲する瞬間は、なかなかうまく撮影出来ず、皆さんにお見せする良い写真がまだ撮れていません。見えにくい夜の環境では、あわててシャッターを切っても、魚を呑み込んだ後で、クチバシに魚が残っていないのです。しかも、夜はピントが合わず、ボケボケ写真ばかりです。フラッシュを焚く手もありますが、それでは鳥を脅かし、逃げてしまうでしょう。たくさん、シャッターを切り、その中に良い瞬間を捉えられたかを探るので、鳥を逃がしてしまうようなことは出来ません。



これは「アオサギ」ですが、昼間なら鮮明に撮れるのですが、夜の写真では、決定的瞬間をキレイに撮るには、1年どころか2年以上も掛かる覚悟をしています。また、写真は「ピント」が命ですので、夜間では、マニュアルでの素早い「ピント合わせ」の腕を磨く必要があります。いずれにせよ、「図鑑」にどう書いてあるにせよ、「ゴイサギ」も「アオサギ」もこの「呑川」では、深夜まで行動していることが判りました。

## 2) 妖しさ漂う「夜の水面」・・・

「ゴイサギ」たちの行動を見終わって、呑川沿いを帰ります。



水面に街路灯の灯りが映って、呑川の水の流れは、昼間とは違う情緒をかもしだします。

そんな夜の魅惑を感じながら、水面（みなも）を見つめて歩くと・・・



こんな不思議な模様の影が映っています・・・

「オヤッ、これは何だろう・・・」と顔を上げると・・・





水面に映った影模様は、「網フェンス」（転落防止柵）が影を映していたのです。



ここは、石川台中学付近です。  
体育の時間でしょうか、子どもたちが息を切らしながら走っています。  
呑川は大きく「蛇行」していて、それに沿って「網フェンス」も大きく円を描いています。  
これは、何十年も続いた当たり前の光景でした。  
しかし、いま、ここ上流部も「網フェンス」は新しいフェンスへと

「交換工事」が始まっています。あと1ヶ月も経たない内に、「網フェンス」は消えようとしています。その時には、どんな「影絵」が呑川の夜を映し出すでしょう・・・「網フェンス」がかもし出した夜の水面を見ながら、時代の移り変わりをふつふつと感じました。

### 3) 星々の広がる「呑川の夜空」

呑川の夜は、「水面」だけでは無い魅力があります。



時々立ち止まって、ボーッと呑川を見つめます。

そして水面から目を離し、上を見ると、呑川沿いに広い夜空が広がっているのに気が付きます。

住宅密集地の家の前では気が付かなかった、「広い空」がそこにあります。



冬の夜空に「プレアデス星団」が輝いています。

通称「すばる」と呼ばれています。

昔は「兵隊検査」で、「すばる」の星がいくつ見えるかをチェックし視力検査をしたそうです。

すぐに見つけやすい星ですが、視力がかなり落ちた私では、4つ位を判別するのがやっとです。



これは「オリオン大星雲」です。

冬の季節に、誰でもすぐに探し当て、名前の知られた「オリオン座」のほぼ真ん中にあります。

目視でも、ボーッとしたもやのような光が見られます。

双眼鏡や、カメラの望遠レンズでは一段とキレイに見えます。

この「オリオン大星雲」の中心のひとときわ明るい部分は、明るい星々が重なり合い「トラペジウム」と呼ばれています。

この「トラペジウム」の周辺に青く見える雲のような領域があります。

ここは、新しい星が次から次へと生成されている領域で、水素分子が「トラペジウム」の光で刺激され、 $H\alpha$ （アルファ）領域という赤い光に近い色で、本来は光っているのです。

残念ながら、私は天文用のカメラを持っておらず、普通のデジカメを用い、一般的なズームレンズ（400mm）で撮影しているので、赤くは写らず、青く写っているのです。





さらに、呑川の夜空を探ると、こんなボーンとした星が見つかりました。  
(目で見た感じもこの写真とほぼ同じです)

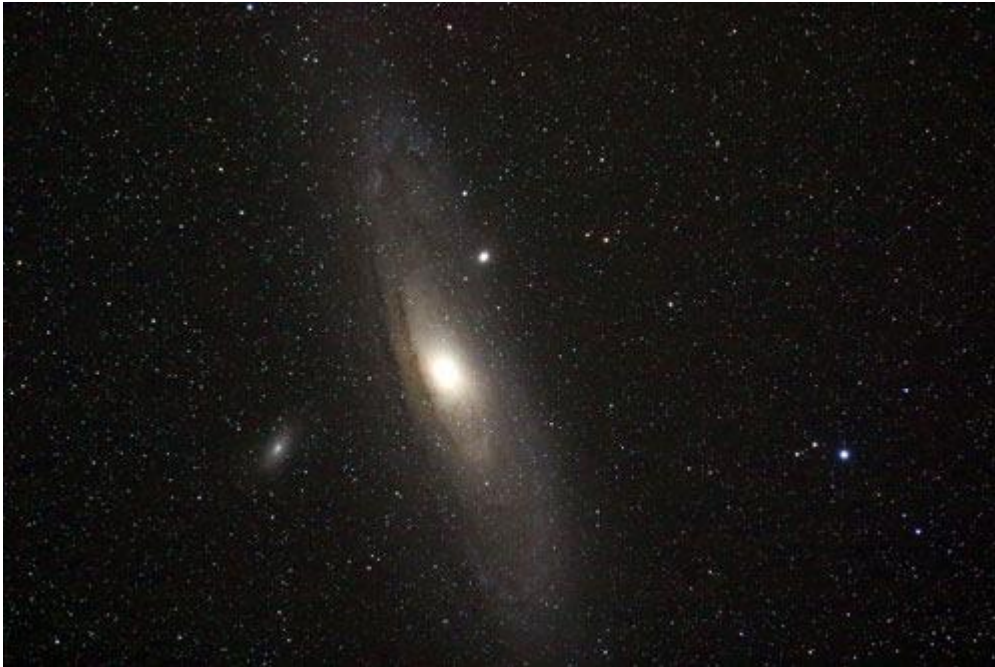
そこで、ISO 感度を最大限に上げ、露出時間も伸ばして撮ると・・・



これが「アンドロメダ大銀河」です。  
私たちの住む「天の川銀河」の隣りにある大きな銀河です。  
都会では、少し露出を長くすると、空が黒く映らず、赤っぽかったり、  
黄色っぽかったりします。

街路灯や水銀灯や、都会の照明群が空を明るくしてしまいます。  
それはそれで、そんなことは気にせず、銀河そのものがきれいに写る  
露出を試行錯誤して写しています。

(東京天文台では、毎年7月7日に、空がどんなに明るく映り、  
どんな色で写るか、「光害」の全国調査をしています。)



深夜の遅い時間、空の条件が良ければ、こんな風に写ります。  
天文写真を趣味にされている方は、1時間、2時間という長時間露出を  
掛けて、「星雲」や「銀河」の淡い光を写し込み、そのディテイルを  
浮かび上がらせます。  
とても長時間を要する作業ですが、私も、いつかは機材を準備し、  
挑戦をしたいと思っています。

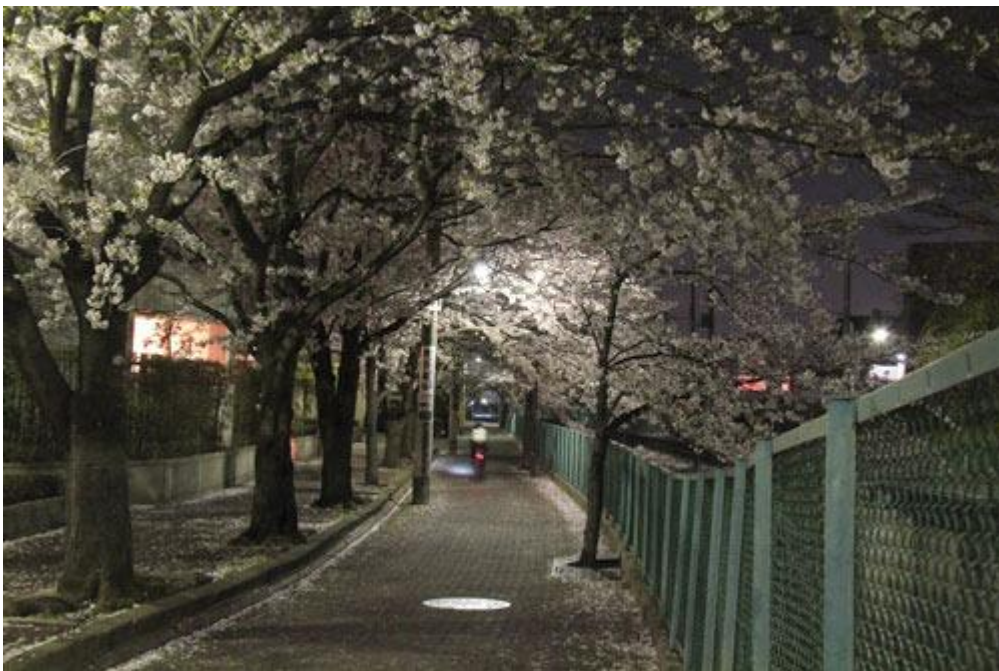
いよいよ「冬の星座」は早い時間に西に沈み、もう「春の星座」の  
出番です。

#### 4) 情緒あふれる「夜桜」

そして「春」と言えば、「桜」ですね。  
まもなく、こんな夜の光景が広がるでしょう・・・



昼のあでやかさと違って、「夜桜」は特別の趣があります。  
だから多くの方は、いにしえから、昼とは違う「夜桜」を楽しんで  
来たのだと思います。



私は、特に夜遅くなった「呑川・夜桜」が好きです。  
昼間の喧噪は鳴りをひそめ、人はごくまばらに通り過ぎるだけ・・・  
その静かさの中で、桜が時おり吹く風を受け、ゆったりと揺れます。  
春は、風がまったく収まることはなかなか無く、静かでソヨともしないと  
思ったら、又まもなくどこからか風がやって来ます。  
(これがまた、写真の撮影をしにくくするのですが・・・)



そんな風の動きを頬に受けて、「夜桜散歩」は実に気持ちが良いのです。

#### 5) 明け方の公園

さて、真夜中に、夜の野鳥たちの行動の観察をし、情緒あふれる香川の水面を見つめ、夜空の星々に見入っている内に、明け方近くになりました。

東の空がほんのり明るくなってきたのです。



ここは「石川町2丁目第2児童公園」です。

公園の木々は、葉をすっかり落としています。

でも、この「冬木立」の凜とした姿が私は好きです。

冬木立の向こうに、三日月のお月さまが見えています。

そして、よく見ると、月の光っていない部分も、薄ぼんやりと見えています。

これが「地球照」です。

月の光っている三日月の部分は、もちろん太陽が照らした部分です。

その太陽は、月と同時に地球も照らしています。

地球からの反射の光も月に届き、月の影の部分に当たり、薄明るく見せているのです。

「ああ、美しいなあ・・・」と見とれていると、パイパイと鳥の声がしました。

どこにいるのかな？と探すと・・・



「冬木立」の木々の間に、野鳥のシルエットがうっすらと浮かび上がりました。  
鳥たちも動き出したようです。  
とても良い気分になって、家路を急ぎました。

皆さんも「夜の呑川」を、じっくり、ゆっくり味わってみませんか・・・  
こんなにも魅惑あふれ、情緒豊かな「呑川」があなたを待っています。

「呑川」を色々な角度から、見つめなおし、今まで知られなかった  
呑川の魅力を語り合いたいですね。  
私も、さらに視野を広げたいと思っています。

----- (当面の予定) -----

4月の初めには2つの桜ウォーク、  
そして「呑川の会・総会」があります。  
ぜひ、多くの方にご参加いただければと思います。  
お顔を拝見するのを楽しみにしています。

- ・「大田区・総合的な水質浄化報告会」 3/28 (月) 10:30 蒲田庁舎5階
- ・「春の都市河川ウォーク」(仙川) 4/2 (土) 京王線仙川駅改札口 10:00 集合
- ・「呑川さくらウォーク」(呑川中流) 4/3 (日) 京急蒲田駅1階 10:00 集合
- ・「呑川の会・総会」 4/9 (土) 13:30 蒲田小学校
- ・「呑川ランドデザイン検討会」 4/11 (月) 10:00 生活センターGr 活動室
- ・「こらぼ大森・利用者ルール説明会」 4/16 (土) 13:00 こらぼ大森

- ・「呑川ネット・総会」 4/22（金）10：00 消費者生活センター
- ・「呑川鯉のぼり」準備作業 5/2（月）13：30 池上出張所3階会議室
- ・「呑川鯉のぼり」展示 5/5（木）池上地区（妙見橋-養源寺橋）

-----  
-----photo essay by-----

（呑川の会） 高橋 光夫

〒145-0061 東京都大田区石川町 1-26-8

(tel) 03-3727-8419 (fax) 03-3727-8505

(mail) mitsuo.takahashi@nifty.com  
-----